

NPO 法人城東台みんなの互助会

インタビュー 副理事長： 歴舎 賢次 氏

城東台学区情報

世帯数

1,390世帯

人口

3,385人

高齢化率

29.0%

活動のきっかけ

元々ぶどう畑が広がっていた丘陵地に昭和58年から大規模団地の分譲が始まり、この地域に多くの世帯が移り住んできました。その後30年以上が経ち、学区では急速な高齢化の進展が見込まれています。

一方でその世代の子どもたちの多くは同居しておらず、また住民同士も元々見ず知らずであり入居後の交流が必ずしも活発とは言えないことから、近隣での見守りや支え合いも機能しにくい状況でした。

こうしたことから今後、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民同士をつなぎ地域の互助力を高めることを目的として平成30年6月に「城東台みんなの互助会」を立ち上げました。

活動内容

【アンケート実施】

高齢化が進み、地域住民が「何を考え、何を必要としているのか」を知ることが必要でした。そこで平成30年度岡山市区づくり推進事業の補助事業として「これからも住みやすい地域づくり」に向けたアンケート調査を高校生以上の全住民を対象に実施し2,157人（配布数の8割）から回答が得られ調査結果をとりまとめました。

その結果、

- ①高齢世代を中心に地域活動への参加が難しくなっている一方で、移動支援や生活支援に関する取り組みの必要性が高まっている。
- ②一方で日常からの地域内における助け合いの認識はまだまだ高まっていない傾向にある。
- ③緊急時や災害時のための日常的な取り組みについての必要性は感じているが、取組みイメージや実際の取り組みについてはこれからである。

といったことが見えてきました。そこで私たちは住みやすい仕組みづくりとして「移動支援」「生活支

援」「避難支援」「住民同士の交流」を推進しようと考えました。

【移動支援（上道スマイルタクシー「ぐるりん」）】

アンケートでは、日常の移動手段の確保が課題でした。隣接学区にあるスーパーが無料送迎バスを運行していましたが、多用途のお出かけに利用できないことなどから城東台みんなの互助会や連合町内会、民生委員児童委員協議会を中心に「上道駅周辺への生活交通を考える会」を立ち上げて、新たな生活交通の運行を目指すことになりました。

令和元年度にはアンケートを実施し岡山市の支援のもと、上道スマイルタクシー「ぐるりん」（デマンド型乗合タクシー）試験運行が令和2年5月から、本格運行が令和3年4月から始まりました。



週3回運行され、上道駅や大型スーパー、医院・薬局などを経由して城東台学区内を周回するので住民に喜ばれています。運賃は片道200円ですが、利用者本人の負担はなく「上道駅周辺への生活交通を考える会」が一括して負担しています。



【生活支援（城東台ご近助くらぶ）】

アンケートの声を具体化すべく「旭竜助け合い隊」の事例をモデルとし「平島健康福祉委員会」の

活動事例を参考に、令和3年5月から学区住民の互助による高齢者世帯の日常生活困りごと支援を目的に「城東台ご近助くらぶ」を設立しました。

地域で日頃から顔の見える方々を中心に、サポーターは36名（男性27名、女性9名）の登録をいただき、利用の際の料金はサポーター1人につき1時間500円としました。利用者とサポーターをつなぐ要の役割を担っているコーディネーターが様々な調整を行います。

●支援の内容

- | | |
|-------------|------------|
| ①家具の転倒防止や移動 | ⑦電球交換 |
| ②ドアなどの簡易な補修 | ⑧犬の散歩 |
| ③掃除など家事手伝い | ⑨枝払いや簡単な剪定 |
| ④パソコン操作 | ⑩ゴミ出し |
| ⑤草取り | ⑪外回りの簡易な補修 |
| ⑥買い物代行 | ⑫その他 |

●令和3年5月～11月実績

活動延べ日数	48日
ボランティア数	56名
延べ活動時間	127時間



手探りのスタートでしたが、仕事ぶりをお褒めいただいたり、私たちの活動を評価していただいたことは、この上ない喜びでした。

【避難支援（個別避難計画への取り組み）】

東区は平成30年7月豪雨で洪水被害があり、緊急時や災害時の備えの必要性を多くの方が痛感されたことがアンケートから読み取れました。

一方で、令和元年度に日常の見守りや災害時の安否確認などについて、令和2年度には大地震を想定した各家庭の備えについてのアンケート調査を行い、ニーズとつながり、不安と備えがマッチしていない現状が浮き彫りになったことから岡山市が推進する個別避難計画の作成について、まずは高齢化が進んでいる第1期の開発区域（西町内会）から取り組むことになりました。①住民向けアンケート実施・対

象者選定、②対象者の訪問・個別避難計画について説明、③地域住民向け説明会の開催、④対象者の家族や近隣住民、自主防災会、ケアマネージャー、行政機関の関係者が集まり、本人の状況や避難方法を整理する調整会議を開催、⑤関係者間での計画共有を行い、今後、避難訓練を実施する予定です。

【城東台みんなのいきいきセミナー】

平成31年度から地域に密着した、楽しくためになるセミナーを開催しています。講師は城東台学区にお住まいの方やご縁のある方をお願いして、気軽な雰囲気の中で学び合っています。毎月第4日曜日（但し4月・8月は除く）開催です。

●講演内容

- ・元町内会役員による城東台地域の発展経緯のむかし話
- ・医師による新型コロナウイルス予防接種についてウイルスとワクチンの話
- ・薬剤師によるセルフメディケーションとフレイルチェックの話
- ・元実業団陸上競技部員による健康づくりのためのウォーキング 等



ネットワーク

城東台学区連合町内会／城東台西町内会／城東台東町内会／城東台南町内会／城東台学区安全・安心ネットワーク／城東台学区の事業者

今後の抱負

これまで、様々な地域から移り住んできた見ず知らずの住民同士を、身近なところからつなぐ輪を作り、その輪を少しずつ広げていく活動を行ってきました。この活動を続けていくには後につく人たちを育てていかなければなりません。興味のある住民が自由に参加できる毎月開催の「城東台みんなのいきいきセミナー」を軸に、これからも人材育成を行い、住民の憩いの場を作っていきたいと思えます。